**給水本管工事竣工届**

年　　　月　　　日

奈良県広域水道企業団企業長　様

　下記場所の給水装置工事が竣工しましたので奈良県広域水道企業団水道事業の給水及び水道用水供給事業の用水供給に関する条例第6条の規定に基づき検査されたく届出します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申込者 | 　　　　　 | 受付番号 | ― |
| 施工業者（指定給水装置工事事業者） | 　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 工事場所 | 市・町・村　　　　　　　　　　　　　　　番地 |
| 竣工年月日 | 年　　　月　　　日 | 主任技術者 |  |

**給水本管工事竣工検査チェックシート**

写真及びチェックシー

付近見取図

平面図及び

断面図

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 竣工検査日 | 　　　年　　月　　日 | 竣工再検査日 | 　　　年　　月　　日 |
| 検査員 |  | 確認者 |  |
| **書　類　検　査** |
| 検　査　項　目 | 検査内容 | 主任技術者確認欄 | 検査員確認欄 |
| 付近見取図 | ・工事箇所が確認できるよう、道路及び主要な建物が記入されていること。 |  |  |
| ・工事箇所が明記されていること。 |  |  |
| 平面図及び断面図 | ・方位が記入されていること |  |  |
| ・隣家家屋の境界が記入されていること。 |  |  |
| ・分岐部、弁栓等のオフセットが記入されていること。 |  |  |
| ・平面図と断面図が整合していること。 |  |  |
| ・各部の材料、口径及び延長が記入されており、1. 給水管給水用具は、性能基準適合品が使用されていること。
2. 構造材質基準に適合した適切な施行方法がとられていること。
 |  |  |
| 工事写真 | ・材料の保管方法が適切であることが確認できる。 |  |  |
| ・管端面の処理・加工が仕様に定められたとおり施工されていることが確認できる。 |  |  |
| ・管の溶接に関して、仕様に定められたとおり施工されていることが確認できる。 |  |  |
| ・良質な埋戻し材料が使用されていることが確認できる。 |  |  |
| ・開削床付け面がみだされずに掘削されている。また、浮き石等がない。 |  |  |
| ・仕様に定められた一層の仕上がり厚で、各層ごとに締め固めて施工していることが確認できる。 |  |  |
| ・管の両端が均等に埋戻されており、管の周辺に空隙が生じていないことが確認できる。 |  |  |
| **現　地　検　査** |
| 検査項目 | 検査内容 | 主任技術者確認欄 | 検査員確認欄 |
| 屋外の検査 | 1. 分岐部,弁栓等オフセット
 | ・オフセットと整合性あるか。 |  |  |
| ２．埋設深さ | ・所定の深さが確保されていること。 |  |  |
| ３．管延長・埋設位置 | ・竣工図面と整合すること。 |  |  |
| ４．ボックス類 | ・傾きがないこと、及び設置基準に適合すること。 |  |  |
| ５．弁、止水栓 | ・スピンドルの位置がボックスの中心にあること。 |  |  |
| 配管 | １．配管 | ・延長、弁等の位置が竣工図面と整合すること。 |  |  |
| ・配水管の口径、経路、構造等が適切であること。 |  |  |
| ２．接合 | ・適切な接合が行われていること。（継手チェックシート・写真等） |  |  |
| ３．管種 | ・性能基準適合品の使用を確認すること。 |  |  |
| 耐圧試験 | ・漏水及び抜けなどのないことを確認すること。 |  |  |
| 水質の確認 | ・残留塩素、濁度、色度の確認を行うこと。**残留塩素　　　mg/l・濁度　　　度****色度　　　度** |  |  |
| 備　　　考 |  |